

雄山における東京都版エコツーリズムに係る実施基準

	注意	中止	備考
風速	駐車場 10m以上 登山道 10m以上	駐車場 13m以上 登山道 13m以上	強風注意報 15m/s(10分値)
雨		0.1mm/h以上	
霧	200m以下	100m以下	濃霧注意報 陸上100m
雷	雷注意報発令	実況で判断	雷注意報 落雷等により被害が 予想される場合
火山ガス(二酸化硫黄)	0.2ppm(レベル1) ※0.25ppmで1st警報	0.6ppm(レベル2) ※0.6ppmで2nd警報	
火山ガス(硫化水素)	1ppm ※0.5ppmで1st警報	3ppm ※3ppmで2nd警報	1ppmは労働安全衛生法における作業環境管理濃度 3ppmは日本産業衛生学会における許容濃度以内

風速については、村の観測地点(山腹北東又は、スオウ穴上)における風速データ(10分値5分更新)が上記の基準値に達している場合、現地において瞬間風速が15mを超える突風が吹いている可能性が大きいことから若干引き下げて設定。

雨については、登山における雨天時の危険(視界不良・足元等)を考慮し、登山前に雨が降っている場合は中止とし、登山中に降り始めた場合は霧雨であっても、その時点で中断して直ちに下山することとする。

霧については、駐車場から登山道に入り、最初のシェルターが見えるところで約200m。二つ目のシェルターからスオウ穴までが約80mのため、100mを景観を見る限界値として設定。

雷については、発生後ではなく予測に基づき注意報が発令されるとのことから、確実に雷が発生するかは不明である。そのため、雷注意報発令中は風と雲の動きでガイドが中止判断することとする。

ゲストの体調・年齢等を考慮し、各基準数値を下回っている場合においてもガイドが中止を判断することも可とする。

上記実施基準は、令和2年4月からの運用開始に向けた基準値であり、今後運用により蓄積したデータを踏まえ、見直しができるものとする。

緊急時を含めてガイドの指示を理解して行動できる年齢の下限を中学生とし、上限については設定しない。